


1 対象となる幼児児童生徒
(肢体不自由、緊張が強い生徒)

2 教材を使用する活動
音楽 (器楽合奏)

3 ねらい
麻痺や筋緊張のために鍵盤を押すことが困難な生徒でも、キーボード演奏で合奏に参加し、器楽合奏の楽しさを感じることができる。

教材の使い方	配慮点
<p>○あらかじめ押されている鍵盤の音が棒スイッチをONにすることで鳴るように作られている。</p> <p>○鍵盤の端にマジックテープを貼ることで音の切り替えがスムーズにできるよう工夫されている。</p> 	<p>○教師が提示した音の中から生徒が好きな和音や単音を選択できるようにする。</p> <p>○生徒が棒スイッチを操作しやすいように位置や角度を調整する。</p> <p>○棒スイッチ以外のスイッチでも操作が可能なので、生徒の実態に応じたスイッチを選択する。</p>